はじめに

この筑波大学経済学論集第三六号では、平成七年度に筑波大学大学院社会科学研究科において博士（経済学）の学位を取得されました、阿比留正弘先生、田多英範先生、松崎昇先生の学位論文の要旨を掲載させていただきます。

阿比留先生は筑波大学大学院社会科学研究科経済学専攻を出られ、現在は福岡大学経済学部教授、学位論文「Vertical Integration, Oligopoly, and Welfare（垂直的統合、寡占および経済厚生）」により平成七年九月三〇日に学位を取得されました。田多先生は東京教育大学大学院文学研究科を出られて、現在は流通経済大学経済学部教授、学位論文「現代日本社会保障論」により平成七年九月三〇日に学位を取得されました。松崎先生は筑波大学大学院社会科学研究科経済学専攻を出られ、現在は上武大学経営情報学部教授、学位論文「経済学方法論と近代社会―宇野理論の拡充―」により平成七年一一月三〇日に学位を取得されました。

平成七年度においては、ここにご紹介した、筑波大学大学院社会科学研究科経済学専攻およびその前身の東京教育大学大学院文学研究科に縁の深い三人の先生方が、優れた学位論文によりそれぞれ学位を取得されました。これを契機にさらに多くの方が、筑波大学大学院社会科学研究科において、優秀な学位論文により博士（経済学）の学位を取得されることを希望しております。

（本田敏雄）